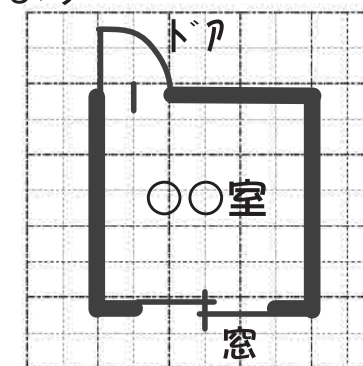


家族の笑顔(住まい)を設計してみましよう！

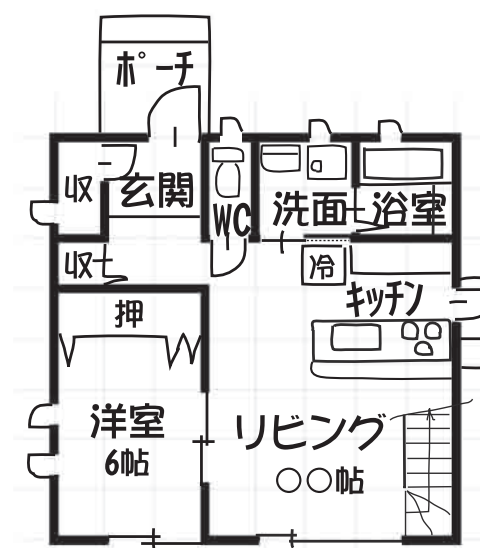
プランが出来ましたらお気軽にご連絡下さい！
ワンコイン(500円)で建築概算価格を計算します

※収益はNPO法人アイキャンを通じて
フイルピン学校建設プロジェクトに寄付しています。



部屋の描き方

- ・壁は太い線で描く
 - ・ドアや窓は位置が分かる程度
- ※上記の部屋は4.5帖の大きさです。



間取りの描き方サンプル

- ・部屋の名前と広さを記入しましょう

なぜ910なの?? 日本のモジュール「尺」

プランを描くときは「910mm」を基準の寸法とします。これは昔の尺貫法の名残りによるもので、1尺=303mmから柱の間隔3尺として909mmとなりますが、これを扱いやすい910mmとして定着しているからです。ちなみに1間は6尺で1,820mmとし、1間×1間=1坪です。木造住宅では今でもこの寸法を基準寸法に下地材や仕上げ材の大きさが決められているため、最もロスの少ない材料配分が出来る基準にもなっています。910mmを基準に30mmの倍数で寸法を決めると、ロスの少ない間取りに納まりやすいのです。

今お住まいのプランを描かれた方には「簡易耐震診断」も行っています。いずれも作成したプランは郵送、FAX、メール等で送って頂いても結構です。後日、弊社よりご連絡差し上げます。

